

戦火よびこむ「安保三文書」破棄せよ、戦争の覚悟でなく 平和の国づくりを

たたかい続けよう

教員を増やせ！
非正規教員を正規に！
30人以下の少人数学級を急げ

2025.9.9. 金曜日
教員の75% 土日も仕事
全教調査
教員の4人に3人が土日も仕事をしている。教員を対象とした働き方に関するウェブアンケート調査で、そんな実態が浮かび上がった。持ち帰り残業をしているのは7割で、1時間を超えて持ち帰りをしている人も3割いた。調査の担当者は「必要なのは教育予算と教員の抜本的な増加だ」と

している。
調査は全日本教職員組合（全教）が4～7月にオンラインで実施。繁忙期ではない時期の残業の有無や時間、持ち帰りの有無などを尋ね、40都道府県の小中高校の教員ら1200人から回答があった。土日も仕事をしていると回答したのは全体の75%。労働時間が1時間を超えたのは59%で、4時間超は17%いた。中高度部活動指導、小学校では授業準備などの多さが影響したとみられる。
持ち帰り残業については71%の教員がしており、費やす時間は1時間以内が40%、1時間超が31%だった。内容は「翌日の授業や単元の準備」が59%で最も多く、「校務分掌」が24%、「児童生徒の提出物やテストの添削・確認」が21%だった。定時に出退勤し、持ち帰

り残業も土日の仕事もないと回答したのは全体のわずか0・9%の11人だった。
2025年の通常国会では学校教育法が改正され、教員間の調整や若手教員の指導を担う役割として「主務教諭」の制度を創設。都道府県・政令市の判断で導入できるようになった。
全教は「主任教諭」の名称で同様の制度を先行して導入している東京都と他道府県で調査結果を比較。その結果、持ち帰り残業をしている割合は東京の教員の方が多く、土日の仕事も東京の方が長時間になる傾向があった。全教の担当者は「主務教諭の導入によって業務を効率的に行うことが可能になるとはいえない。教員を増やして少人数学級化を進め、1人あたりの業務量を削減すべきだ」と指摘した。【斎藤文太郎】

《壊憲阻止・戦争法等廃止・野党共闘・原発・行動案内》

※9/27(土)11:30「三宮センター街入り口」播磨臨海道反対アピールのパレード

※9/30(火)13:00「大阪弁護士会館西広場」再審法改正求める市民パレード(共催・関西の各弁護士会)

場所：長田区文化センター大会議室
大会議事

憲法改悪許さず、憲法と世界人権宣言を活かそう
申し込み：下記へ

(連) 078 - 351 - 0677

◇◆◇地域や団体の催し◆◇◇

★★★ 9月28日(日) 13時半～
戦後・被爆80年 兵庫県平和シンポジウム

主催：兵庫県平和大会実行委員会

場所：こうべまちづくり会館

交流：兵庫から見える大軍拡と戦争動員体制

- ・強化される軍事基地と軍事演習
- ・自衛隊への名簿提供問題は
- ・教育現場に忍び寄る自衛隊
- ・戦争の実態を語り継ぐ
- ・核兵器禁止をめざす取り組み

(連) 078 - 362 - 0806

★★★ 10月17～19日 9時～

第22回伊丹平和のための戦争展

後援：伊丹市・伊丹市教育委員会

場所：伊丹市スワンホール

写真展：パネル「原爆と人間」

書と原爆の詩：

展示：戦後80年を「戦前に」させないために

(連) 090 - 1912 - 4808

★★★ 10月21日(火) 11時半～

自衛隊への個人情報提供を問う！

神戸住民訴訟 第5回弁論

場所：神戸地裁 204号法廷

『若者たちの情報提供は憲法違反！』

報告集会：13時～あすてっぷ KOBÉ・2階

★★★ 10月11日(土) 9時半～

第62回日本国民救援会兵庫県本部大会